

平成17事業年度

決 算 報 告 書

自：平成17年4月 1日

至：平成18年3月31日

国立大学法人東京農工大学

平成17年度 決算報告書

国立大学法人 東京農工大学
(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,126	6,126	0	
施設整備費補助金	0	2	2 (注1)	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	1,664	4,993	3,329 (注2)	
補助金等収入	0	20	20 (注3)	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	36	36	0	
自己収入	3,793	3,802	9	
授業料, 入学科及び検定料収入	3,546	3,537	-9 (注4)	
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	247	265	18 (注5)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,204	2,211	7 (注6)	
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	13,823	17,190	3,367	
支出				
業務費	7,754	7,360	-394 (注7)	
教育研究経費	7,754	7,360	-394	
診療経費	0	0	0	
一般管理費	2,165	2,412	247 (注8)	
施設整備費	36	38	2 (注9)	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	26	26 (注10)	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,204	2,182	-22 (注11)	
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,664	4,993	3,329 (注12)	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	13,823	17,011	3,188	
収入 - 支出	0	179	179	

予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成17年度補正予算措置によりアスベスト対策事業(附带事務費)の交付を受けたことから、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金収入については、平成17年度補正予算措置により平成14年度に国が貸付決定をした無利子貸付金についての償還期限が、一括して平成17年度に繰り上げられたことから、予算金額に比して決算金額が3,329百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった平成17年度大学改革推進事業・法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムの交付を受けたことから、予算金額に比して決算金額が20百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初見込んだ在籍者数が下回ったこと等により、予算金額に比して決算金額が9百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、家畜病院の患者数の増加等により、予算金額に比して決算金額が18百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算を過去の受入実績の伸び率により算定したが、受託研究等収入の受入が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっています。(寄附金収入は平成16年度より18百万円少額)
- (注7) 業務費については、主として雇用実績が雇用計画を下回ったため、予算金額に比して決算金額が394百万円少額となっています。
- (注8) 緊急修繕費が予定より上回ったこと及び研究支援のための任期1ヶ月未満の雇用が発生したこと等により、予算金額に比して決算金額が247百万円多額となっています。
- (注9) (注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由のほか、精算型補助事業を実施したことにより予算金額に比して決算金額が26百万円多額となっています。(収入と不一致な事由は、額の確定通知が平成18年度になったものが6百万円あるため。)
- (注11) (注6)に示した理由のほか、年度を越える契約等により平成18年度への繰越額が発生したため、予算金額に比して決算金額が22百万円少額となっています。
- (注12) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が3,329百万円多額になっていません。